

正則小学校では、「学び合う力」を育てるために、国語の「聞くこと」「話すこと」を他の教科で生かし、算数で自分の考えを絵や図・文に表したことを発表したり友達の考えと比べたりすることで、学力の向上に努めています。また、基礎学力を高めるために、個に応じた指導や朝の時間に国語の「漢字」「語句」「読む」学習に取り組んでいきます。さらにご家庭と協力することにより、より一層子どもたちの力を高めていきたいと考えています。

ご家庭でも、よりよい学習の習慣化に向けてご協力をお願いします。

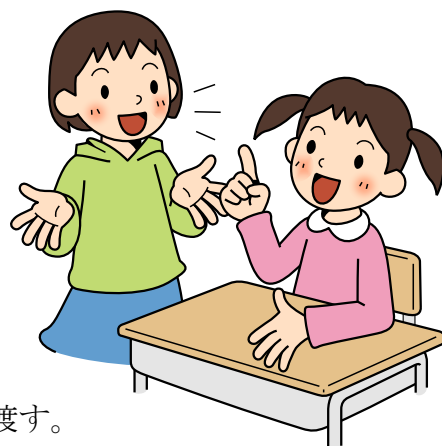
### 家庭での学習を習慣化しよう

#### ◆ 学習時間のめやす

3・4年生… 40分以上

#### ◆ 学力アップは規則正しい生活から

- ・ 家に帰ったら、早めに宿題をすませる。
- ・ 毎日10分以上、読書をする。
- ・ 身の回りの整理・整頓は自分でする。
- ・ 学校からのお便りや連絡などを、必ず家の人に渡す。
- ・ 家族の一員として、手伝いをする。
- ・ テレビやゲームは、時間を決めて、短めに。
- ・ 早寝（遅くても10時までに寝る）・早起き・朝ご飯



#### ◆ 学習のやくそく

- ・ 毎日自分が決めた時刻に、机に向かう。
- ・ 1日の家庭学習の時間を決める。
- ・ 机の上には、学習用具だけをのせる。
- ・ ものを食べながら勉強しない。
- ・ テレビや音楽を消して勉強する。
- ・ 次の日の時間割や学習準備をする。

#### ◆ 学習の進め方

- ・ 学校からの宿題 ※ 正しい しせいで 取り組もう！
- ・ 自主学习 ※ 遊びと休みとの けじめを きちんと つけよう！
- ・ 読書



### 家の方へのお願い

自主性が芽生えてくる次期で自分でやろうとすることが多くなり、「やる気」や「根気」が育つ時期です。一方、学習では、四則計算(+-×÷)の基礎を徹底的に学ぶと共に、分数や小数など、少しずつ抽象的な内容を学びます。苦手意識をもつ子どももでてくるかもしれません。家庭の温かい助言や励ましの言葉で、やる気を起こさせたり宿題の様子を見たり点検をしたりするなど、手助けが必要です。自主的な学習習慣が身に付く時期なので、徐々に自分でできるように支援をお願いします。

# 自主学習の仕方



## 国語

### 1 音読

- ・ 今学習しているところを、読む回数とめあてを決めて、声に出して読みましょう。
- ・ 練習したら、おうちの人に聞いてもらい音読カードなどに読んだしるしを付けましょう。

### 2 漢字の練習・言葉の意味調べ

- ・ 今までに習った漢字を、ノートに練習しましょう。
- ・ 手本を見ながら「とめ」「はね」「はらい」に注意して、ていねいに練習しましょう。
- ・ 練習し終わったら、自分でテストなどをして覚えているかどうか、かくにんしましょう。
- ・ 国語じてんを使って、意味の分からない言葉を調べ、ノートに書いておきましょう。
- ・ 関係のある言葉や同じ部首をもつ漢字なども、集めてみましょう。

### 3 日記・作文

- ・ その日のできごとや考えたこと調べたことなどについて、書きましょう。
- ・ 題名をつけて、習った漢字を使って書きましょう。
- ・ 書き出しを工夫しましょう。

例 ・ 会話文(「 」)から ・ 音から ・ したことから ・ 思ったことから など

### 4 読書

- ・ いろいろな種類の本を、読みましょう。

### 5 視写

- ・ 教科書の文や詩、お話などをノートに写しましょう。
- ・ 文や言葉をかたまりごとに見て、書き写しましょう。



## 算数

### 1 授業で学習した内容の復習

- ・ その日に学習したところを、家でもう一度やり直してみましょう。
- ・ かけ算やわり算など、正しい計算手順が身に付くように毎日練習しましょう。
- ・ 定規や分度器、コンパスなどが正確にそうさできるように、くり返し練習しましょう。
- ・ 教科書やドリルの問題を、まちがえないで速くできるようにくり返し練習しましょう。
- ・ 自分の解き方(考え)を式だけでなく、文も使って分かりやすく書いてみましょう。

### 2 プリントやテスト問題

- ・ プリントやテスト問題を使って、もう一度といてみましょう。
- ・ まちがえた問題は、何度もくり返し練習しましょう。



## 理科・社会

### 1 授業で学習した内容の復習

- ・ 大事なところに線を引きながら、教科書や資料集を読み直しましょう。
- ・ 大事な語句やことがらを中心に、教科書の内容をノートにまとめてみましょう。

## その他

- ・ ローマ字を使って、簡単な文章を書いてみましょう。
- ・ 音楽のリコーダーで習った曲などを、練習しましょう。
- ・ 次の時間に学習するところを読んで、予習をしてみましょう。
- ・ 分からない内容やきょうみのあることは、図かんやじてんでも調べてみましょう。
- ・ 上にかかれていない学習を、自分で考えてするのもよいですね。

